



広い空 未来につなぐ えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園 Minato City, Nanzan Kindergarten

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

令和8年4月7日

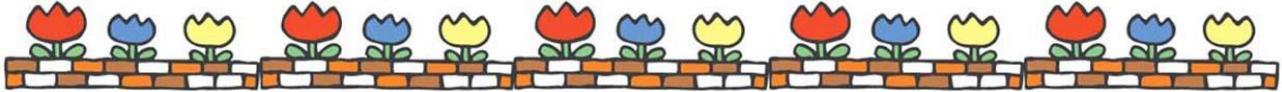
April 7, 2026

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

4月園だより



「南山らしさ」で一年を

園長 河合 晴美

桜の花やヒメリンゴ、チューリップが満開になりました。大きな空がある南山幼稚園の一年が始まります。新学期を迎える幼稚園に、春の日差しが暖かく差し込んでいます。

お子さんの入園、進級おめでとうございます。

令和8年度の南山幼稚園は、5歳児15名、4歳児23名、3歳児18名の56名でのスタートです。92周年を迎える幼稚園の歴史の中では「南山幼稚園ならではの」言えることや「南山だからこそ」という今まで培ってきた「南山らしさ」がいくつかあります。



まず、1つ目は園舎前に広がる広い空があることです。大きな空を見上げながら戸外で伸び伸びと体を動かす経験ができること、周囲に緑がたくさんあるため、自然が豊かで生き物にたくさん出合えることが南山ならではの環境です。

そして、2つ目は、長い歴史の中で地域の皆さまに温かく支えられていることです。校庭や体育館を心よく貸してくださる小学校の皆さまをはじめ、都立六本木高校、麻布十番商店街や宮村町会の皆さまがいつも温かく見守ってくださり、行事には声を掛けてくださいます。温かい地域の中で子どもたちが育つという環境があることです。3つ目は、代々明るく、楽しい雰囲気をつくってくださる保護者の皆さまの存在です。行事の際には、3学年3学級というアットホームな雰囲気の中で楽しさを味わえることが「南山らしさ」であり、全ての基本となっています。

本園の教育目標は、○げんきな子 ○よくかんがえる子 ○なかよくする子 です。

この環境の中で伸び伸びと遊び、安心できる関係性と子どもたちの主体性を伸ばす生活を目指し「げんきな子」を実現していきます。また、同年齢、異年齢との関わり、小学生や近隣の高校生、地域との交流を大切にしながら「なかよくする子」を目指していきます。そして、「よくかんがえる子」となる子どもたちが、考える力を伸ばしていくために、好奇心、探究心に着目し、自らその子なりに学んでいく姿をつくっていき、可能性を広げていく教育活動を推進していきます。

「南山らしさ」は、変わらないものもありますが、新しく加わっていくものも含め、臨機応変によりよいものをつくっていきます。そして、南山ファミリーとして皆さまの笑顔が一層広がりますよう、教職員一同力を尽くしてまいります。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



<りんご組の名前の由来となった

ヒメリンゴの花が咲きました>